



## International Exchange Bulletin

# とちぎ国際交流

第 29 号

1994年(平成6年)1月号  
編集発行

(財)栃木県国際交流協会  
Tochigi International Association  
〒320 宇都宮市昭和1-2-16  
栃木県自治会館1階・3階  
TEL (0286) 21-0777 (代)  
FAX (0286) 21-0951  
相談専用電話 (0286) 27-3399



▲益子参考館入口

### 益子参考館

人間国宝・濱田庄司氏が国内外から集めた貴重品が多数収蔵されている“益子参考館”。染織・家具・硝子製品と幅広い工芸品の他、もちろん濱田氏自身の作品も堪能できます。

また、益子への定住を決意した時期に着手した住宅、作業所、窯等も見学できます。

►観覧時間=9:30~16:30 ►入館料=大人(高校生以上)500円、小人(小・中学生)300円 ►休館日=月曜日(ただし祝日は開館)、12月28日~1月4日、2月1日~2月末日 ►所在地・電話=益子町益子3388 ☎0285-72-5300

— MASHIKO SANKOKAN (THE MASHIKO REFERENCE COLLECTION MUSEUM)

The precious collection of Shoji Hamada from within Japan and abroad is now on display at the MASHIKO SANKOKAN.

The exhibition includes his collection of dyed cloths, furniture, glassware, and a variety of industrial products along with Hamada's



▲益子芦雁図大徳利

own work.

You can also see his house, work place, and kiln where he started building when he decided to settle down in Mashiko

Open : Tuesday-Sunday

Closed : Non-Holiday Mondays, from Dec. 28 to Jan. 4, and from Feb. 1 to the end of Feb.

Hours : From 9:30 to 16:30

Entrance fee : Adults : 500 yen

Children (under Junior High School Students) : 300 yen

Address : 3388 Mashiko Mashiko-machi

Telephone : 0285-72-5300

### 今号の主な内容

- ★アジアの夕べ “フィリピン編” カメラルポ … P 3
- ★栃木県海外移住者激励訪問団リポート … P 4
- ★世界人権宣言パネルディスカッション … P 5
- ★ガイドコンテスト案内 … P 8



財団法人 栃木県国際交流協会  
理事長 田島一郎

新年明けましておめでとうございます。

皆様には日頃、当協会の事業、運営に多大なるご協力をいただき誠にありがとうございます。

国際化の波のなかで誕生した当協会は、創設の5年間を終え、発展期の段階に入ろうとしています。

これまで様々な事業を通して、国際理解・国際

#### A HAPPY NEW YEAR!

I want to express my thanks to all of you for your continuous support in our endeavors.

Five years have passed since the establishment of the Tochigi International Association. Now, we are entering into a phase of growth.

We have been promoting international understanding and goodwill by working on a variety of projects. It is still our continual goal to open the minds of Tochigi residents by increasing international awareness and promoting further exchanges with the rest of the international community.

According to the statistics, one out of a hundred Tochigi Prefectural residents is a foreign national. Considering this situation, I believe that our activities will accomplish an important role in an era of coexistence.

In particular this year, a counselling day (every Tuesday) has been established that provides information and free counselling

親善を提唱し普及してきました。県民の皆さま一人ひとりが開かれた心を持ち、国際化への意識を高め、世界の人々と交流していくことが、今後も私たちの願いであることに変わりはありません。

栃木県民100人にひとりが外国人という状況のなか、来るべく共存の時代へのさきがけとして、当協会の事業が果たす役割は非常に大きいものがあります。

特に、今年度から始まりました毎週火曜日の「外国人のための定例相談」では、英語・ポルトガル語・スペイン語・中国語・ペルシャ語・日本語の専門スタッフが、在県外国人からの生活相談等に応対しております。日本滞在で生じる様々な問題について、関係機関のご協力を得ながらお応えしていくよう心がけております。

当協会は、これからも時代のニーズに合った事業を開拓し、栃木県民と外国人のお互いが、協調と理解をもって生活できるよう努力していく所存です。また、21世紀を担う若い世代の更なる国際化に期待しております。

皆様方の一層のお力添えをお願い申し上げます。

services in Japanese, English, Portuguese, Spanish, Chinese, and Persian. We are trying our best to cope with problems and troubles through close cooperation with numerous other groups concerned.

We would like to promote activities that meet the demands of the times, so that all prefectural citizens have a mutual understanding and live harmoniously. Furthermore, I hope to contribute to bringing up future internationally-minded generations who will take an active role in the 21st century.

I sincerely look forward to the continued support of all our friends and associates.

*Ichiro Tajima*

Ichiro Tajima  
Chairman of Directors  
Tochigi International Association



第5回アジアの夕べ ~魅惑の島々  
フィリピン編



▲華麗な衣装に身を包み、ダンスの要素を盛り込んだオリジナル・ファッションショー



▲フィリピン人留学生によるパンブーダンスの妙技



▲美声でフィリピンの歌を歌った  
ウィチタ・サントスさん



▲試食コーナーでは手作りのフィリピン料理に舌つづみ



▲石橋町のコーラスグループ“若葉コーラス”によるフィリピンと日本の歌



11月21日(日)、石橋町石橋勤労者体育センターで、第5回アジアの夕べ“フィリピン編”が、財団法人栃木県国際交流協会と石橋町国際交流協会の共催で開催されました。

広い会場には、フィリピンの民芸品やパネル展示、ビデオコーナーが設けられました。また、ルンピア、サゴ・ドリンク等のフィリピン料理も来場者に配られ好評を得ました。

フィリピン国歌で始まったステージショーでは、スライドによる国紹介、ファッションショー、民族舞踊、歌等が披露されました。また、地元の合唱団も参加し、500名で埋まった会場を盛り上げました。



▲コーディネーターとして大活躍した、宇都宮フィリピンコミュニティ代表・佐々木ニンファさん(写真右)

海外の栃木県人たちを応援！

## 栃木県海外移住者激励訪問団リポート

栃木県出身の海外移住者やその子、孫たちを激励するための「栃木県海外移住者激励訪問団（団長・鈴木乙一郎栃木市長、16名）が、平成5年10月20日～11月4日の16日間、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ、ハワイの4か国を訪れました。

最初の訪問地、ブラジル・サンパウロでは、在伯栃木県人会（会長・大貫栄達氏）創立35周年及び学生寮落成記念式典に出席しました。会場となった学生寮2階のセレモニーホールには、同訪問団の他に、県出納長を団長とする出納長班、県議會議長を団長とする議長班、県議會議員による議員班、そして教育者で構成される中南米研修班も出席し、県人会関係者約280名と合わせて総勢320名が集まりました。また、式典後に行われた県人会青年部（2世・3世で構成）とのミーティングではブラジル移住者子弟短期研修事業（栃木県主催）についての質疑応答がなされました。

翌日、リオデジャネイロへ移り、サンバショー

を始めコルゴバードの丘のマリア像を見学しました。

ブラジルを後にした訪問団の次の行き先はアルゼンチンのブエノスアイレス。

到着日の夜に行われた在アルゼンチン県人会との懇談会で、秋澤



▲登山電車で20分、コルゴバードの丘にそびえる高さ38mのマリア像の前で記念撮影（リオデジャネイロ）



▲在伯栃木県人会創立35周年及び学生寮落成記念式典でスピーチする鈴木団長（場所：学生寮2階ホール、団長の左隣が大貫県人会長）

県人会会長が活動状況を報告しました。そして翌日の市内視察では、かつて栃木県で勉強した元留学生、研修員の2人が案内役として訪問団に随行してくれました。

第3の目的地はメキシコシティです。インカ・アステカ文明の遺跡を見学したあと、メキシコ日系人との懇談会が開催されました。会場は長年に渡り栃木県と交流している閑戸氏宅です。在墨日本大使ご夫妻も出席され、手作りメキシコ料理を食べながら懇談は進みました。

最後の訪問はハワイ・ホノルルです。南那須町出身の中山氏が経営する寿司屋でハワイ日系人の懇談会が行われました。

こうして、16日間の全行程中病気やけが、盗難もなく、無事成田空港に到着。ご苦労さまでした！



▲在アルゼンチン栃木県人会との懇談会風景。立っているのが秋澤県人会長

## 世界人権宣言45周年記念 パネルディスカッション(リポート)

12月10日(金)、栃木県自治会館で“世界人権宣言45周年記念パネルディスカッション”が宇都宮地方法務局、栃木県人権擁護委員連合会、財団法人栃木県国際交流協会の共催で開催されました。

テーマは「国際化時代における人権を考える」。パネラーは、基調講演及びディスカッションの司会を行った宇都宮大学教授・秋山光庸氏、東邦電子株式会社代表取締役・鷹箸孝氏、国際交流グループ交流会「仲間」会長・福田静江氏、宇都宮大学留学生・ハッサン・マブー氏(バングラデシッシュ)、小川町国際交流員・トリシア・ペッパー氏(カナダ)、栃木県人権擁護委員連合会副会長・佐藤貞夫氏の6名です。日常生活のなかで外国人と接する機会が増えている状況で、お互いの理解不足から多くの問題が生じているが今後どのように対処していくべきかを各パネラーの体験を踏まえて、意見交換がなされました。

鷹箸氏は、人手不足からブラジル、ペルーの系2・3世を採用した際、住居を探してあげたが外国人という理由で断られた経験等を、福田氏は日頃行っている外国人との交流のなかで、相手を



傷つけないように日本語の使い方に注意していること等を述べました。また、マブー氏とペッパー氏は日本人の国際理解教育の少なさを指摘し、外国人への固定観念(偏見)をやめてほしいことを訴えました。そして佐藤氏は、日本人の人権に対する感覚が国際的レベルではとても低いという点をあげ、国際化した日本のモノ(製品)同様、ヒトも国際化すべきであると話しました。

会場の聴衆との質疑応答後、司会の秋山氏は総論で、今後の日本人の課題として幼稚園からの人権教育の必要性を唱え、幕を閉じました。



▲司会の秋山光庸  
氏(宇都宮大学教  
授)



▲鷹箸孝氏(東邦  
電子(株)代表取締  
役)



▲福田静江氏(交  
流会「仲間」会長)  
氏(宇都宮大学教  
授)



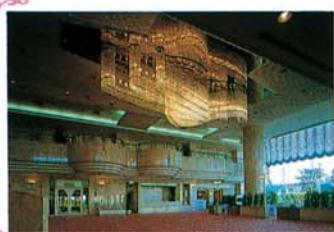
▲ハッサン・マブ  
ー氏(宇都宮大学  
留学生)



▲トリシア・ペッ  
ー氏(小川町国  
际交流員)



▲佐藤貞夫氏(栃  
木県人権擁護委員  
連合会副会長)



センチュリーライフグループは  
人生の大切な儀式をお手伝いします。

セレモニーホール

センチュリー

へいあん

宇都宮市鶴田町(平成・鹿沼インター通り沿い)  
TEL 0286-48-1122 ■ 0120-48-1165

## こちら国際交流最前線 財団法人ワイ・エフ・ユー日本国際交流財団

YFUは、高校生の国際交流を目指し1951年にアメリカに生まれました。1958年に日本も参加し、それ以降最近では、毎年約一千名以上の高校生の派遣・受入れを行っています。

栃木県からは1978年に高校生の派遣が始まり、今年までに111名を米国、オーストラリア、ニュージーランド、カナダなどに派遣しました。外国の高校生は81名受け入れました。

YFUは異文化体験を通じ、国際的相互理解をはかり、人々の間の信頼と友好を促進しようというYFUファミリーの運動です。高校生一人ひとりは若き民間大使であり、草の根の家族ぐるみの異文化交流を主眼としています。「可愛い子には旅をさせよ」の現代版をねらっています。

8月に成田空港を発った高校生は翌年7月に帰ってきますが、それぞれ見違えるように成長して

帰国します。ひとまわりもふたまわりも人間が大きくなつたように思われます。帰国生は、1年間の体験を生かし各方面で活躍しています。来日の高校生の中には、ゴア、ゲッパート等有力上院議員の知事宛のメッセージを持参してくる高校生もいました。

地区委員などボランティアがこの活動を支援しています。



▲アメリカ人高校生の小学生からプレゼントをもらう

### ようこそとちぎへ

### ズンズ・ラミさんご一家（ザイール出身）



(左)と長女のミズちゃん(左から二番目)、長男のクリスくんの4人家族です。生物科学研究所の研究員であるズンズさんの仕事の関係で、東京から越してきました。

「8年前に、有機化学の勉強のため来日しました。名古屋で日本語の勉強をしたあと、富山県の富山医科大学で大学院生として勉強しました。富

11月に栃木県に来たばかりというズンズ・ラミさん(写真右)ご一家は、奥さまのシンバ・ミエジさん

山県には結局5年半もいました。それから東京に移って、こうして栃木県に来たわけです」と流暢な日本語で話すズンズさん。またシンバさんは、「会話はわかりますので日本での生活に不自由はありませんが、漢字が良く読めないので、雑誌とかの内容がわからないのが残念です」と日本の女性雑誌を見せながら話してくれました。

ズンズさんは、富山にいたころから様々な活動に参加してきました。栃木県でも社会・文化活動に積極的に参加したいそうです。「いろいろな人とコンタクトをとって交流していきたいと思います。わたしは英語、仏語が話せますので、コミュニケーションしたい人がいたらぜひひどうぞ」と笑顔で話します。栃木県の人たちといっぱい交流してくださいね!



## 宇都宮↔成田空港

空港ターミナル出発ロビーへ 2時間50分! 毎日4往復・4000円

▶JR宇都宮駅西口関東チサンホテル前 16番のりば

▶宇都宮発 5:20 8:30 12:00 14:00

▶往路:宇都宮→成田空港第2ターミナル(3F)→第1ターミナル(4F)

▶成田空港 第2ターミナル 1階 到着ロビー 9番のりば

▶第1ターミナル 1階 到着ロビー 6番のりば

▶成田空港発 8:05 15:30 17:00 19:40

▶復路:成田空港第2ターミナル(1F)→第1ターミナル(1F)→宇都宮

ご予約・お問合せ ☎0286-38-1730

または関東バス各営業所へ

関東バス

## トピックス

### 中国浙江省・金華市から 浙江婺劇団初来日公演

栃木市と友好交流を行っている中国浙江省・金華市から、400年前から浙江省に伝わる「金華戯曲」（日本のミュージカル仕立てのようなもの）を演じる浙江婺劇団が初来日し、11月16日に栃木市文化会館大ホールで、また11月18日に真岡市民会館大ホールで公演し大好評を得ました。

演題は「白蛇前伝」。蛇仙（女）と人間の男の恋を、蛇仙に恨みを持つ高僧が邪魔するという、中国の古い伝説の民話を伝統ある中国戯曲により表現したものです。



## トピックス

### 中南米諸国青年が県内で ホームステイを体験

中米支援「民主開発パートナーシップ(PDD)」の貢献の一環として、外務省の招聘で、エルサルバドル、グアテマラ、コスタリカ、ニカラグア、パナマ、ホンジュラスの6か国から若手官僚12名が対日理解促進のため来日しました。

プログラムのひとつであるホームステイは栃木県で行われ、県内の11人のホストファミリー宅に1泊2日滞在し、日本の家庭の味を満喫しました。



▶ 中南米青年とホストファミリーによる記念写真

## NEWS

### 国連・全国中学生作文コンテスト で栃木県から特賞に入賞！



過日、第33回国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテストが行われ、栃木県から推薦された真岡市立真岡西中学校3年の岩田京子さんが、特賞（日本ユネスコ協会会長賞）に輝きました。

岩田さんの作文は、台湾から来た二人の小学生がホームステイしたときの交流を綴ったものです。お互い言葉がわからず最初は会話ができなかったが、漢字を通して意思伝達ができることがわかり、仲良くなることができた体験を通じ、国際交流の身近さを感じたそうです。

その他、銀賞に次の3名が入賞しました。鹿沼市立北犬飼中1年・野中洋子さん。矢板市立矢板中2年・荒井美千代さん。氏家町立氏家中3年・手塚沙千さん。

## 協会日誌 (1993.12.1~1994.1.31)

- 12/1 海外技術研修員・受入研修機関研修担当者  
合同打合せ会 (自治会館)  
12/1 第II期日本語講座閉講 (協会研修室)  
12/6~16 地域国際化協会職員海外研修  
(タイ・シンガポール他)  
12/7 海外技術研修員県外視察  
(広島・岡山方面)  
12/8 第III期日本語講座開講 (協会研修室)  
12/10 世界人権宣言45周年記念パネルディスカッショ  
(自治会館)  
12/12 国連・英語検定第二次試験  
(コンセーレ)  
12/19 栃木県交響楽団浙江省公演友好使節団結  
団式 (コンセーレ)  
1.2~7 栃木県交響楽団浙江省公演友好使節団派  
遣 (浙江省杭州市)

## TIA Information Corner

### 第4回国際ガイドコンテスト

栃木県の文化、伝統、芸術等を国際語の英語で紹介する“国際ガイドコンテスト”を下記のとおり開催します。

- ▶日時=1994年2月27日(日) 13:00~16:00
- ▶場所=宇都宮市総合コミュニティセンター大集会室(宇都宮市明保野町7-1)
- ▶参加費=無料
- ▶演題=自由(スライドや実物の使用可)
- ▶言語=英語
- ▶出場資格=栃木県民(プロのガイドは不可)
- ▶制限時間=6分以内(その他に2~3問の質疑応答)
- ▶応募方法=①申込用紙(とちぎYMCAにあります)②カセットテープに録音したガイド③ガイドの原稿A4サイズ(ダブルスペースでタイプしたもの)を郵送
- ▶応募締切=1994年1月17日(月)まで
- ▶予選審査結果通知=1994年1月末日までに出場者に通知予定
- ▶郵送先及び問い合わせ先=とちぎYMCA  
〒320 宇都宮市松原2-7-42 ☎0286-24-2546
- ※コンテスト当日は、一般の方の入場もできます。  
— The 4th International Guide Contest —  
The guide contest about culture, tradition, and/or art in Tochigi will be held as follows.  
Date : Sunday, February 27th, 1994  
Time : 13:00~16:00

Place : Dai Kaigi Shitsu (Conference Room)  
at the Utsunomiya Sogo Community Center

Entry fee : Free

The subject : Free (It is allowed to use slides and to bring props)

Language : English

The requirement

for application : Residents of Tochigi Prefecture

(Except for the professional guides)

Limited Time : Up to 6 minutes

How to apply : Send

① application form (you can get at the Tochigi YMCA)

② recorded cassette tape

③ typewritten manuscript (A4 sized paper, double spaced)

to the Tochigi YMCA (See the address below)

The deadline : January, 17th, 1994

The result of the

provisional selection : Results will be sent to the chosen participants.

For more details

and inquiries : Tochigi YMCA 〒320 Utsunomiya city, Matsubara 2-7-42  
Telephone 0286-24-2546

※Everyone is welcome as an audience on the day of the contest.

### 編集後記

○栃木県海外移住者激励訪問団が訪れた国には、かつて栃木県で研修や留学をした日系2世・3世の若者が、日本で学んだことを生かして、みんなそれぞれの分野で活躍しています。これからも頑張って、それぞれの国で成功をおさめてほしいものです。

○「手作りのイベント」をモットーに毎年開催している“アジアの夕べ”。今年はフィリピン編で民族舞踊、歌、ファッションショー等様々な内容で観客を魅了しました。特にファッションショーが何ともすばらしかった!日本では結婚式ぐらいでしか見ないような鮮やかな衣装の数々。そしてしなやかで軽やかな動きに思わずウットリ…としていたのは私だけではないはず!!

### ●ご案内図



※財団法人栃木県国際交流協会では、各企業・団体からのご出捐をお願いしております。当協会の事業にご賛同下さいるみなさまのお力添えをよろしくお願い申し上げます。